

こんなはずでは…

初めてお母さんになったというよりも、お母さんになってもうた…という感じだったかな？

大きなお腹がイヤだったし、しんどいのもイヤだった。仕事を辞めて家庭に入った私に対し、仕事をしてどんどん輝いて見える友人。女性として、何かが失われていくような喪失感…。

お母さんになること。それは、嫁として子どもとして、親を喜ばせたいという気持ちが大きかった。たぶん1人目の子どもを流産、結婚して5年目の赤ちゃんやったからなのかもしれない。

自分の頭の中で決めていた、人生計画通りの出産やったはずなのに、何でこんなに痛い！何でこんなにしんどいん！何でこんなに辛いん！何でこんなに私だけ大変なん！

生まれた赤ちゃんはかわいいものと思いきや、ゴメンね。あまりにしわくちゃの、ぶさいくな顔に、思わず声になれへんかってん。「あらあ……。」という私の声が、外で待っていた主人にまで聞こえて恥ずかしかった。

初めてお母さんになった私は、お母さんになる覚悟がなかった。

こんな私だから、お母さんになるまでに随分時間がかかってしまったけれど、お母さんにさせてくれて、お母さんと呼んでくれて、お母さんと甘えてくれて、ありがとう！

私、お母さんになれたかな？
(山本妙子)

出産は母から代々伝わり、経験しているのに、その話が活きてないと思う。こんなに素晴らしい出来事、一人の経験として埋もれてしまっていたらもったいないと思います。
(川辺秀子)

子どもが生まれれば母になれるのかといえは、そうではないと思います。ただ子どもたちは、私を「母」にしてくれました。
(市川文佳)

「お母さん」を感じたのは、出産したときでも、おっぱいをあげたときでもなく、ある日、抱っこしていた赤ちゃんが、小さな手で私の服の脇をぎゅっと握ってくれた瞬間でした。
この子には、今の私が、必要なんだと感じたのです。もしかしたらわが子からのメッセージをやっと受け取れた瞬間だったかもしれない。
(宇賀佐智子)

片腕におさまるくらいに小さくて、その寝顔は本当にかわいくて穏やかでした。いつまでも胸に抱いて見つめていたいと思いました。でも泣き出すと、おっぱいをくわえてもらうのも一苦労。こんな私に何が出来るのだろうという焦りや不安も、少しずつ出てきました。いろんな想いで頭がパンパンの興奮状態で夜を迎えたことを覚えていきます。
(上坂紗絵子)

人生で「生きる」と「いのち」「見えないちから」に関する経験は、産んでも産んでも母になりきれなかった私に、おてんとさまで与えてくれた宿題なのかもしれない。
(大谷聡穂)

妊娠という未知の世界にどきまぎしている私に、胎動という合図を使って話しかけてきた息子。仕事中は

おとなしくしているのに、夜になると、お腹の中からポンポンと主張をしてくる。それを繰り返すうちに、何だか会話しているような、そんな不思議な気持ちになってきた。
(渡邊智子)

目も開かない娘が、何の疑いもなく身を委ね、力強く私の乳首に吸い付いたとき、私のお母さんのスイッチが、ONになった気がします。初めての授乳、初めてのオムツ替え。

毎日が初めての連続…。子どもを産んだからすぐにお母さんになるのではなく、いろんな経験を重ねて、だんだんとお母さんになっていくのです。
(北原智美)

わが子の顔を飽きずに見つめていた。時が止まったように感じたほど。至福に包まれた時間。とめどなく溢れる感謝の気持ち。ありがとう、ありがとう。神様、ありがとうございます。私にとって母になった日…。母になれた日である。厳しい現実から、ようやく解放され、夢が叶った瞬間であった。
(鈴木由可)

猿のような宇宙人のような顔を想像していたが、そうでもなく、きれいな顔立ちだった。この子が俺の子…。と自分に言い聞かせつつ念じつつ…。
(榎本以世子)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

助産師としての出発の日

母になったのは、助産師として病棟で務め、産休に入り、心から待ちわびたその日でした。助産所に到着し、自分で内診して、まだまだだと思っていたが、どんどん陣痛がついてきて、身も心もついていけない中、かなり声も出しながらのわりと早い出産でした。

陣痛が1～2分間隔になると、1cmも動くのが大変で、しゃべれない状態になりながら、私はこれまでの自分の仕事に対する懺悔の気持ちでいっぱいでした。

教科書を信じ、一生懸命に仕事をしてきたのですが、私は1cm動くのも大変な状態のときに、当たり前のように歩いて、分娩台に上ってもらっていたのかと…。申し訳ない気持ちと同時に、マニュアルだけで行動していたのではないかと、悔まれてしかたがありませんでした。

もちろん、長男を出産したときは、本当にうれしくて、充実感とスッキリ感とで素敵な時間が過ぎ、本当に幸せなひとときでした。

母になった日、それは私にとって、やっと助産師のスタートラインに立った日だったのかもしれない。(藤尾さおり)

実感がわかない。原因は俺がつくったのに、実感がわかない。生まれるまでの過程は長かったのに、妻と、元気な赤ちゃんが生まれてくるように願って楽しみにしていたのに、こんなにも実感がわかないなんて不公平！男なんてこんなものか…。
(渡邊和利)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

おそろいのおそろい。初めての抱っこ。それは不思議な感覚でした。つい数時間前までお腹の中で動いていた赤ちゃんが、今こうして腕に抱かれてるなんて。ほんの10分ほどの時間、安心して眠る娘を抱きしめた。このとき初めて「お母さんになったんだ」という実感がわいてきました。
(厚海有美)

お母さんの夢は…海の奥深いところに沈んでいる宝箱の中に入っている。不思議なことに、満月の日にその宝箱が開き中からたくさんの母親たちの夢が泡のようにぶくぶく飛び出してくる。それは、眩しいくらいキラキラ輝いている。母親たちは、まもなく生まれてくる世界中の赤ちゃんのために祈り、夢を語り合う。愛するわが子を命がけで守ること。その母の祈りをイルカや魚、貝たちが、大きな海へと運んでいく。月あかりの夜、今日もまた小さな命が誕生する。

